

余り物には「ふく(福・腹)」がある

～中山間地区の農家さんにHAPPYを！～

2018年12月7日発表用資料

チーム名：真ん中

アジェンダ

- 登場人物紹介
 - コンセプト
 - ペルソナ設定
 - 課題設定
 - ソリューション概要
 - ソリューション詳細
 - ターゲット市場
 - 競合
 - 強み
 - 想定リスクと対処
 - 実施体制・主要活動
 - ROI算出（投資対効果）
- 【参考】IT投資コスト詳細
- 【参考】NPO法人の運営



登場人物紹介

※同一人物です



Unhappy トメ子 happy トメ子

※同一人物です



ドライバー

NPO法人まんなか



観光客(優しい家族)

※四万十町の外から、14,000名の方が何かしらの理由で滞在しており、その中からドライバー候補を選定。

コンセプト



IoTシェアリングサービス 「あまりもののまわる」

NPO法人 まんなか



高知工科大
の学生

システム保守・運用

感謝(野菜とともに)

富士通

クラウドサービス

¥クラウド利用料

自治体

¥補助金

地域課題解決

NPO会員

¥寄付金

感謝(野菜とともに)

¥売上

余った農作物の出荷

¥手数料

余った農作物の運搬

¥売上

余った農作物の販売



ペルソナ設定

氏名：園田トメ子

年齢：75歳

居住地：高知県四万十町十和地区

家族構成：夫には6年前に先立たれる

息子夫婦は県外で暮らす。(8歳の孫♂あり。)

性格：負けず嫌い

好奇心旺盛だが、すぐに飽きてしまう。

趣味：農業、家庭菜園

若いころは中型バイクや車を楽しんで回すぐらい

運転が趣味であったが**高齢のため免許は返納**。

生きがい：**作った野菜を食べてもらうこと**。

ご近所の人とおしゃべり、孫の笑顔を見ること。

最近の悩み：年齢を重ねて農作業がきつくなってきた、、、。

高齢のため移動がきつく、最近足腰も若干弱くなってきた。

野菜が余っても食べられずに捨ててしまう。

余った野菜を
届けたいんじゃ、、、



課題設定

余った野菜の行方やいかに！？

理想

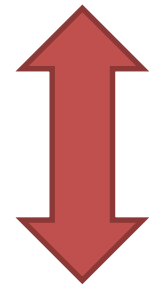
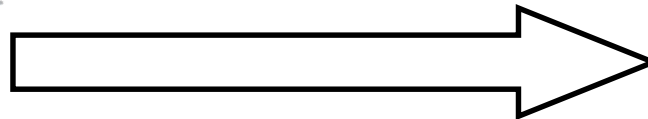
余った野菜なし！

理想と現実の間には
大きなギャップが！！



余った野菜を
届けたいんじゃ、、、

現状



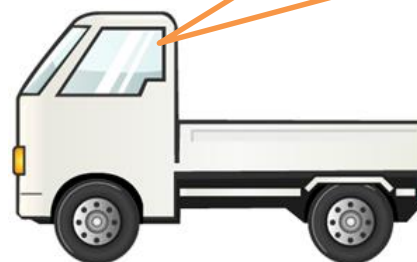
ソリューション概要

集落活動センター

IoTデバイス



野菜データ: 画像、重量
位置情報: 保管場所、ルート情報



インセンティブ
GET!!



町内



市内の飲食店



ソリューション詳細

- ・トメ子、野菜を収穫したが、流通にのらなかった傷物等が余る、、、。
→トメ子 **unhappy**
- ・トメ子、余った野菜を集落活動センターに持ち込み、IoTデバイス「あまりものまわーる」に載せる。
- ・IoTデバイスによる野菜、位置情報データの収集。
- ・IoTデバイスからの野菜、位置情報データがドライバーのスマホに送信。
- ・ドライバーは野菜、位置情報データをもとに保管場所へ移動。
- ・ドライバーは野菜を集荷、指定場所(道の駅等)まで配送。
- ・余った野菜は指定場所で販売または調理。
- ・トメ子の野菜、無事に消費者の口に届く。
→トメ子 **HAPPY!!!**

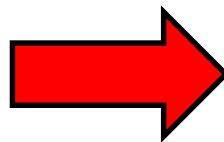
余った野菜なし！



ターゲット市場



四万十町



全国の中山間地区

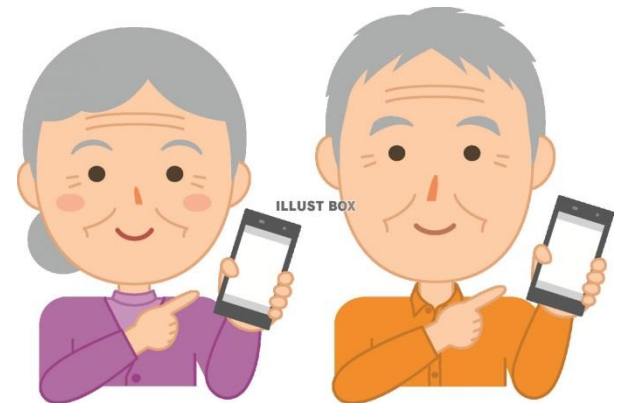
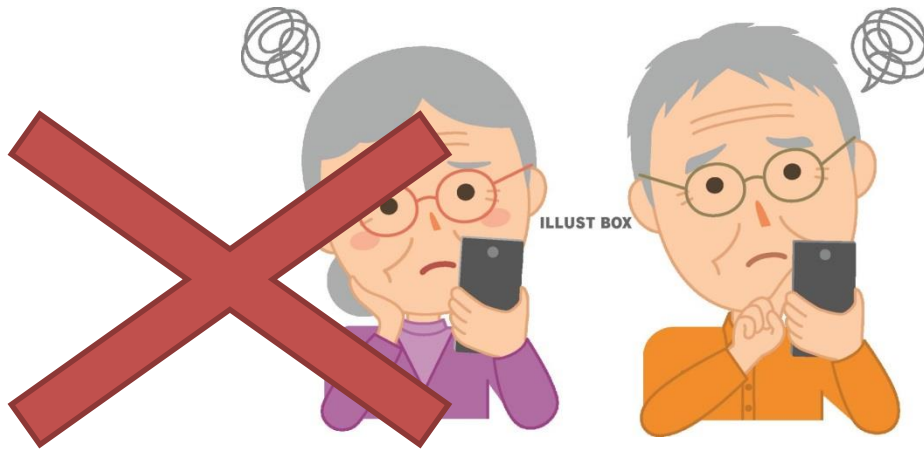
市場拡大により、より多くの収入を！！！！

強み

- **わかりやすさ**
- **操作のしやすさ**

※デバイスを使ってもらうために・・・

- トメ子などの農家さんが倦厭することなく身近に感じられる箱型のIoTデバイス
- 情報記入の手間を省くことによる操作性



想定リスクと対処

■リスク

IoTデバイスを継続的に使ってもらえるか？？？

■対処法

楽しく利用できる環境づくり。

ランキング等の導入により利用意欲の向上。

(ローカルラジオでランキングを発表)

トメ子嬉しい



実施体制・主要活動

※2015年農林業センサス抜粋

NPO法人まんなか



会員数：初年度100名(予定)
地元住民、県の協力が必須
会員費：年間10,000円
人口(四万十町)：17,325人前後
対象農家数：1,935戸

物流

フードロス対策
小遣い稼ぎ

パッケージ化

全国の地域課題解決

開発

認知

野菜データ等収集
出荷先データ

高齢者の健康増進
高齢者の繋がりづくり

ROI算出（投資対効果）

6年目以降はパッケージ化し、
全国展開!!!

年度	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
農家数（○名）	5	15	30	100	190
ドライバー数（○名）	1	3	6	20	30
寄付金	1,000,000	2,000,000	3,000,000	4,000,000	5,000,000
システム内売上	60,000	180,000	360,000	1,200,000	2,280,000
収入総額	1,060,000	2,180,000	3,360,000	5,200,000	7,280,000
投資総額	372,600	769,800	1,062,000	1,782,000	2,718,000
利益（収入総額－投資総額）	687,400	1,410,200	2,298,000	3,418,000	4,562,000
ROI （利益÷投資総額）	184%	183%	216%	192%	168%

単位：円

【参考】IT投資コスト詳細



センサーデバイス スマートデバイス(タブレット等)	20,000 デバイス数：1台	40,000 デバイス数：2台	40,000 デバイス数：2台	80,000 デバイス数：4台	160,000 デバイス数：8台
ネットワーク 無線LAN環境	3,500	16,500	35,000	105,000	175,000
クラウド利用料	252,000	480,000	600,000	600,000	600,000
運用・保守等マネジメント費用 (高知工科大生)	0	0	0	0	0
IT投資コスト総額 ※リスクマネジメントのため ×1.2で算出	330,600	715,800	810,000	942,000	1,122,000

【参考】NPO法人の運営①

■ 資金獲得方法は

1. 会費・年会費といった会費収入 ※1
2. 寄付金収入
3. 助成金収入
4. 補助金収入
5. 事業収入

NPO法人まんなか



- ・イベント運営
- ・ふるさと納税
- ・募金箱
- ・会員費

■ 説明資料

- ・何に使用されるお金なのか？

余りものシェアリングシステムを運用するためのシステム構築費。

- ・なぜ寄付をしなければいけないのか？

困っている農家さんがいる。

- ・寄付をすることによって、どうなるのか？

余りものシェアリングシステムを運用が可能になり最終的には「地域活性化」「食品ロス対策」への貢献。

- ・本当に説明を受けた目的に使われているのか？

はい。使われます。

【参考】NPO法人の運営②

寄付金確保案

～地域活性地元食材フェス～

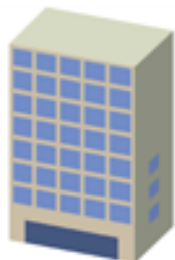


- ・開催場所：四万十市街(or協力してくれる学校)
- ・集金方法：時間制限を設けた食べ放題制、(例)2時間1500円
- ・学生の調理体験を兼ね、農家の人たちと学生で開催。
- ・寄付金確保＆『あまりものまわーる』宣伝の場。



【全体概要】

自治体



寄付金(ふるさと納税)

地域活性貢献

イベント



学生にやってもらうことで、
家族やお年寄りなどの参
加も見込める。

寄付金確保&宣伝

農家

地域活性貢献

- ・ふるさと納税の活用。
- ・このイベントでも余った野菜を活用することができる。
- ・Win-Winの関係をもち、定期的な開催になるとベスト。



余った野菜を箱から口に
～中山間地区の農家さんにハッピーを！～

あまりものまわーる

集落活動センターにIoTデバイスを設置！

- ・市場等で販売
- ・飲食店で調理

簡単！



野菜を入れた専用かご
を量りに載せるだけ！




受信…

交通の心配なし！



ホーム画面へ戻る 登録一覧の閲覧 登録履歴

農作物プロフィール



商品名	なす
量	300.00
生産地	四万十町十和地区
生産者名	園田トモ子
備考	

プロフィール更新



【参考】プロモーション方法

■プロモーション方法

- ・高齢者に対して・・・テレビ(ex.ローカルCM) 、ラジオ
「あまりものまわる」の使い方、お客様の口が届くまでの流れを分かりやすくPR
- ・ドライバー、販売店に対して・・・テレビ、YouTube
YouTubeを利用することで低コストでPR

※根拠資料

普段の生活で楽しいと感じていることを聞いたところ、「テレビ、ラジオ」83.2%が最も高く、次いで、「新聞、雑誌」で、55.0%、「仲間と集まったりおしゃべりをする事や同じ趣味の人との交際」47.7%、「食事、飲食」47.5 %、「家族との団らん、孫と遊ぶ」 40.1%の順となっている。

【出展】内閣府「高齢者の日常生活に関する意識調査結果」(平成26年度)